



3/11(日) 第2回 OITA BROADWAY MUSICAL THEATER

公募で集まった県内在住の80名の出演者は、7~70歳という幅広い年齢層。約半年の稽古を重ねた夢のミュージカルが、ついに本番を迎えました。ステージでは、アニーの「Tomorrow」や美女と野獣の「Belle」など、聞き覚えのあるブロードウェイミュージカルの傑作16演目を次々と披露。友達や会社の同僚、母親などが、スポットライトを浴びてステージで輝く姿は感動ものです。観客からも「友達の様子が、いつもと違ってすごかった」や「お母さんがとてもイキイキとして、楽しんでいた。私もミュージカルをやってみたい!」などの声が聞かれました。公演後はスタンディングオベーションの嵐、会場の熱気はいつまでも冷めやらぬ様子でした。

すべての出演者が輝く夢のステージに拍手喝采



3/25(日) iichiko グランシアタ・ジュニアオーケストラ 第9回定期演奏会

総勢83名、小学校低学年から大学生までの幅広い世代の団員で構成されたジュニアオーケストラ。1年という歳月をかけて練習を重ね、みんなで創り上げた成果を発表する定期演奏会も、今回で9回を数えました。再共演となる船橋洋介氏を指揮に迎え、大人顔負けの、勇壮かつ繊細な音色で聴衆を魅了。さらに別府市出身のピアニスト・渡邊智道氏と一緒に、ピアノ協奏曲にも初挑戦しました。すべての演奏を終えると、会場は大きな拍手と歓声に包まれ、団員たちも満足げな表情を浮かべていました。

心に染み入る音色で魅了する1年間の集大成

2/3(土) ウェールズ弦楽四重奏団 ベートーヴェン弦楽四重奏曲 全曲演奏会 第2幕



2回目となる今回の弦楽四重奏曲の演奏会は、ベートーヴェンの初期・中期・後期の3つの時代が楽しめるよう考えられたプログラム構成で、演奏

はダイナミクスが豊かで聴きごたえがあり、一般的なイメージの厳格なベートーヴェンより、優しく軽やかだったのが印象的でした。今回もウェールズ弦楽四重奏団の新しい解釈による意欲的な演奏を堪能でき、聴きごたえのある演奏会となりました。

2/24(土)・25(日) 邦楽のススメ 紙切り・太神楽編



「紙切り」を林家楽一さんが、「太神楽」を翁家助さんが教えてくれる珍しい邦楽のワークショップには、前日の九重公演に続き、子どもから年配者

まで多くの参加者の姿が。始めは苦戦していた参加者も、師匠陣が伝授するコツをつかむと途端に上達。体験した後は、両師匠による芸の披露も堪能しました。実際に伝統芸能を体験してプロの技を間近で楽しめる、充実のワークショップとなりました。

1/10(水) ワンコインリレーコンサートVol.5 フルート



人気のワンコインリレーコンサート、今回はアンサンブル・リネットがフルート四重奏を演奏! 県立美術館で同時期に開催されていた「イサム・ノグチ展」に合わせた、大分大学清水慶彦准教授作曲の《地球の骨

イサム・ノグチ賛》の初演や、有名なクラシック音楽の演奏、ユーモラスな演出など幅広い音楽、笑い溢れる雰囲気会場は大いに盛り上がりました。

2/4(日) 舞台メイクワークショップ



今年の「舞台メイクワークショップ」では、テレビCMや舞台などで有名女優、タレントのメイクを担当する、大分県出身の赤松絵

利さんを講師に迎えました。赤松さんによる「舞台映え」するメイク指導に熱心に耳を傾ける参加者たちは、持参した道具を使って実際にメイクを施しました。その後行われたフォトセッションでは、いつもと違う自分になりきり、撮影に挑みました。